第１回 中四国若手 CE 合宿

主催 化学工学会中国四国支部若手の会
協賛 化学工学会中国四国支部、中国地区化学工学懇話会

【主旨】 化学工学会中国四国支部若手の会（通称、中四国若手 CE）は「化学工学」に携わる「若手教員」「学生」「若手企業人」（心・身どちらかが若ければ年齢を問いません）が集い、大学間や企業間を越えた若手ケミカルエンジニアの横断的な交流を通じて幅広く情報交換し、親睦を深め、将来に役立つネットワーク形成を目的とします。本合宿では、コロキウムとは趣を変え、より積極的な会員間のネットワーク形成を目指します。
尚、本会の活動の詳細は、若手の会 HP を参照下さい。また、メーリングリストの積極的な活用を期待します。

若手の会 HP: http://www.chemeng.hiroshima-u.ac.jp/chu-shikoku/wakate/ （検索 words: 化学工学、中国四国、若手）
メーリングリスト:（全会員） wakate@chemeng.hiroshima-u.ac.jp （学生会員）wakate_st@chemeng.hiroshima-u.ac.jp
（企業会員）wakate_co@chemeng.hiroshima-u.ac.jp （教員会員）wakate_yf@chemeng.hiroshima-u.ac.jp

【開催期日】 9月28日（金） 10:30 ～ 9月29日（土） 15:00

【開催場所】

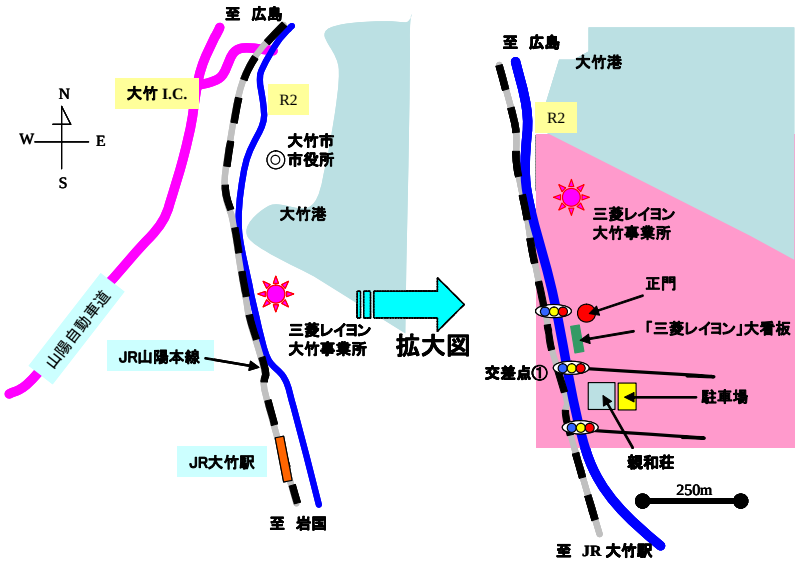
① 9月28日（金） 工場見学&特別講演会:
三菱レイヨン（株） 大竹事業所
〒739-0693 広島県大竹市御幸町 20-1 （JR 大竹駅から徒歩 16 分） 電話 0827-53-3008 （佐藤晴基様）

集合時間＆集合場所

10:20 三菱レイヨン（株） 大竹事業所 正門前

〔JR 利用者〕
JR 大竹駅前から10:05発のチャーターバスを用意しておりますのでご利用下さい。（JR 時刻を[付録 公共交通機関]に掲載しておりますので参照ください。）

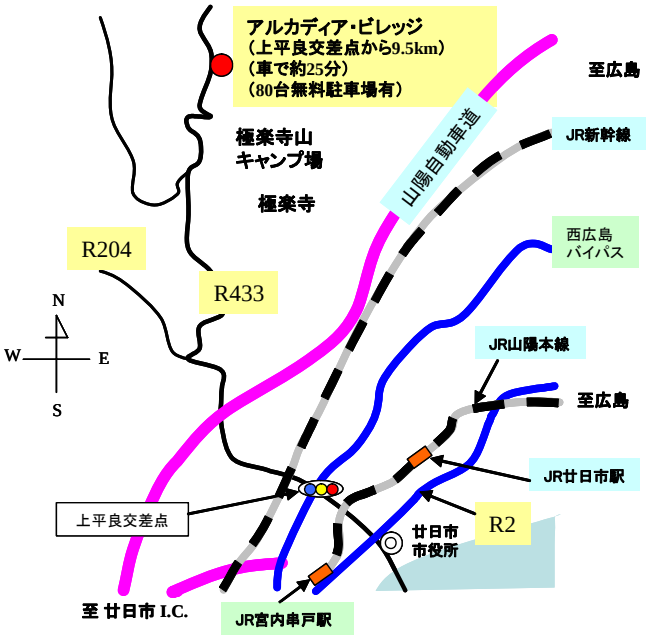
〔自家用車利用者〕
山陽自動車道 大竹 I.C.から国道2号線へ入り、岩国方面へ向い、「三菱レイヨン」大看板を過ぎた最初の信号（交差点①）を左折し、「親和荘」側の駐車場に車を駐車してください。正門まで徒歩1分です。



② 9月28日（金）、9月29日（土） 合宿:
極楽寺温泉 アルカディア・ビレッジ
〒738-0031 広島県廿日市市原2210番地
http://arcadia-v.jp、電話 0829-38-2221

〔チャーターバス利用者〕
三菱レイヨン株式会社 大竹事業所 正門前を 16:00 に出発

〔自家用車利用者〕
山陽自動車道 廿日市 I.C.から西広島バイパスへ下り、「上平良交差点」で左折し、国道 433 号線に沿ってアルカディア・ビレッジに来てください。「上平良交差点」からの距離は、9.5 km でおよそ 25 分です。国道 204 号線と国道 433 号線との交差点には、アルカディア・ビレッジの看板がありますが、わかりにくいので注意してください。
（注意） 道幅が狭いところや急カーブが多数あるので、安全運転を心がけ、万が一遅れる場合は「急がず」、アルカディア・ビレッジに連絡してください。



【経費】

工場見学、講演会参加費： 無料　ただし、昼食は1,000 円負担

宿泊費（全食事込み）： 一般・教職員　13,000 円，学生　9,000 円

【スケジュール】

〔9月28日（金）〕

①　工場見学会　（三菱レイヨン（株）大竹事業所内）

10:00　JR 大竹駅前集合［JR 利用者用にチャーターバスを駅前に用意しております。案内掲示をしております。］

10:05　チャーターバス出発

10:20　三菱レイヨン（株）正門前集合［自家用車で来場される方は指定駐車場に駐車後、10:20 までに集合］

10:30　三菱レイヨン（株）大竹事業所内へ移動後、班分けし工場見学［出欠を最初に取ります］

12:00～13:00 昼食（親和荘）［お弁当 1,000 円で参加人数分用意しております］

②　特別講演会　（三菱レイヨン（株）大竹事業所内　レイヨンホール）

13:00　受付開始（要旨集とお茶配布）

13:20　化学工学会中国四国支部支部長　挨拶　［司会］広島大学　木原伸一

13:30～14:15　特別講演 S 1　［座長］徳島大学　外輪健一郎

「デバイス上生体高分子の最表面構造実測への挑戦」　島根大学生物資源科学部　青柳里果

14:15～15:00 特別講演 S 2　［座長］岡山大学　小野努

「プラスチックの押出技術に活きる化学工学」　（株）日本製鋼所研究開発本部機械研究所　福島　武

15:00～15:45 特別講演 S 3　［座長］広島大学　木原伸一

「各種焼却灰の再資源化とその利用法」　広島大学大学院工学研究科物質化学システム専攻　福井国博

15:45～15:55　総合討論　［司会］広島大学　木原伸一

③　合宿

16:00 三菱レイヨン（株）　大竹事業所正門前出発（アルカディア様バス&自家用車）

16:45～17:00　到着、合宿受付（参加費、名札配布、部屋割り確認）

17:10～18:30　体育館集合、対抗ドッチボール&ビーチバレーボール大会　**[運動着、体育館シューズ持参]**

18:30～19:15　休憩（温泉）

19:15～19:45　夕食（食堂）

19:45～20:00　ポスター準備＆ポスター審査準備　（研修室）

20:00～22:00　ポスター発表会（優秀ポスター発表賞を選考）（研修室）

22:00～　交流会（Room #102、#103、#104、予備　#117）

（温泉は 6:00～0:00 まで利用可）

〔9月29日（土）〕

07:30～08:30　朝食（食堂）

08:30～08:45　若手講演会準備（研修室）

08:45～11:30　若手講演会（研修室）

11:30～11:45　休憩

11:45～12:45　昼食（食堂）

12:45～13:45　若手講演会（研修室）

13:45～14:00　休憩

14:00～15:00　総会[優秀ポスター発表賞表彰等]（研修室）

15:00～　名札回収後、解散

「化学工学会中四国支部若手の会　第２回総会」案内

【日時】 9月29日（土） 14:00～15:00

【場所】 極楽寺温泉　アルカディア・ビレッジ　研修室

〒738-0031 広島県廿日市市原2210番地、http://arcadia-v.jp、電話 0829-38-2221

【議題】 ［司会］ 代表幹事 木原伸一

① 開会の挨拶

② ポスター発表審査結果の発表と表彰、アドバイスの配布

③ 規約確認（総会資料1）、第1回総会議事録承認審議（総会資料2）

④ 第1回コロキウムアンケート結果（総会資料3）の紹介と討論および顛末記紹介

⑤ 学生幹事推薦 （学生幹事　荻君）

⑥ 化学工学会　学会誌「化学工学」への本会活動紹介記事依頼の件

⑦ 広告（総会資料4）、寄附金募集（総会資料5）の件

⑧ 第2回中四国若手 CE コロキウム（徳島）のアナウンス （幹事　徳島大　外輪先生）

⑨ 質疑応答

⑩ 閉会の挨拶

総会資料1

社団法人　化学工学会　中国四国支部　若手の会　規約

第１章　総　則

（名称）

第１条　本会は、社団法人化学工学会中国四国支部若手の会（略称「中四国若手 CE」）と称する。

（事務所）

第２条　本会の事務局は、代表幹事の所属する地区（広島県、岡山県、徳島県、島根県、山口県、愛媛県、香川県、高知県、鳥取県のいずれか）に置く。

（目的）

第３条　本会は、「化学工学」に携わる「若手教員」、「学生」、「若手企業人」が集う場を設け、大学間や企業間を越えた若手ケミカルエンジニアの横断的な交流を通じて幅広く情報交換し、親睦を深め、「化学工学」の進歩および化学関連産業の振興につながる有益なネットワーク形成を目的とする。

（行事）

第４条　本会は、第３条の目的を達成するために、次の行事または事業を適切な時期に行う。

（１）「化学工学」およびその周辺分野に関する講演会、コロキュウム、見学会、合宿の開催。

（２）「化学工学」に関する国内外の関係機関、団体等との学術、技術の交流会の開催。

（３）「化学工学」に関する研究、技術開発の奨励を促す表彰。

（４）前各号に揚げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事項。

（運営細則）

第５条　本規約の実施に関し必要な事項は、本規約に定めるもののほか、本会総会の決議を得て、代表幹事が別に定める。

第２章　会　員

（種別）

第６条　本会の会員は、所属等により「若手教員」、「学生」、「若手企業人」に分類される。

（会員の資格）

第７条　第６条に定める会員の資格は、中国地区および四国地区（広島県、岡山県、徳島県、島根県、山口県、愛媛県、香川県、高知県、鳥取県）に在住する「化学工学」に興味のある若手とする。ただし、本会で示す若手とは、心・身どちらかが若い方とし年齢制限を設けないが、第３条の目的に賛同できる方とする。

（入会）

第８条　会員になろうとするものは、所定の内容を記載したものを代表幹事に提出して、幹事会の承認を得なければならない。

（退会）

第９条　会員は、代表幹事に連絡して退会することができる。

２　会員が次の各号の一つに該当するときには、退会したものとみなす。

（１）５年間連続で本会が開催する行事に参加しなかったとき。

（２）死亡又は法人などの解散、会員としての資格要件を失ったとき。

３　会員がその資格を喪失したときは、本会に対する権利を失い、義務を免れる。ただし、未履行の義務はこれを免れることができない。

（除名）

第１０条　会員が、次の各号の一つに該当するときには、総会の議決を得て、除名することができる。

（１）本会の規約又は規則に違反したとき、

（２）本会の名誉を傷つけ又は本会の目的に反する行為があったと認められたとき。

２　前項の規定により会員を除名する場合は、当該会員にあらかじめ通知するとともに、除名の議決を行う総会において、当該会員に弁明の機会を与えなければならない。

３　第９条第３項の規定は、除名について準用する。

第３章　役　員

（役員）

第１１条　本会に次の役員を置く。

（１）幹事　４名以上６名以内

（２）監事　１名

２　幹事のうち、１名を代表幹事、１名以上２名以内を学生幹事とする。

３　幹事及び監事は、相互にその職を兼ねることができない。

（役員の選任）

第１２条　代表幹事の選任は化学工学中国四国支部会員および中国地区、岡山地区、徳島地区、山口地区の化学工学懇話会の中より選任する。

２　その他の役員は、総会において本会の会員のうちから選任する。

（役員の任期）
第１３条　役員の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。
２　代表幹事の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。
３　補欠又は増員により選任する役員の任期は、第１項の規定にかかわらず、総会の決議により前任者又は他の現任者の残任期間とすることができる。
４　役員は、辞任又は任期満了後であっても、後任者が就任、事務引継ぎが終了するまでは、その職務を行わなければならない。
（役員の職務）
第１４条　代表幹事は、本会を代表し、会務を統括する。
２　幹事は、代表幹事を補佐し、代表幹事に事故及び不測の事態があるときは、その職務を分担し代行する。
３　幹事は、本会の業務を執行する。
４　監事は、財産の状況及び監事の業務執行を監査する。
（役員の職務）
第１５条　役員が次の各号の一つに該当するときは、総会の議決を得て、当該役員を解任することができる。
（１）心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められたとき。
（２）職務上の義務違反その他役員たるにふさわしくない行為があると認められたとき。
２　前項第２号の規定により解任する場合は、当該役員にあらかじめ通知するとともに、解任の議決を行う総会において、当該役員に弁明の機会を与えなければならない。

第４章　会　議

（種別）
第１６条 本会の会議は、総会及び幹事会とする。
（構成）
第１７条　総会は、会員をもって構成する。
２　幹事会は、幹事および監事をもって構成する。
３　監事は、幹事会で意見を述べることができる。
（権能）
第１８条　総会は、本規約に別に定めるもののほか、本会の運営に関する重要事項を決議する。
２　幹事会は、本規約に定めるもののほか、次の事項を議決する。
（１）総会で議決した事項の執行に関する事柄。
（２）総会に附議すべき事項。
（３）その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項。
（開催）
第１９条　総会は毎年１回以上開催する。
２　総会は次の各号の一つに該当する場合に開催する。
（１）幹事会が必要と認めたとき。
（２）「若手教員」、「学生」、「若手企業人」のいずれかの会員から、あらかじめ会議の目的とする事項を示して請求があったとき。
３　幹事会は、次の各号の一つに該当する場合に開催する。
（１）代表幹事が必要と認めたとき。
（２）幹事から、会議の目的とする事項を示して請求があったとき。
（招集）
第２０条　総会及び幹事会は、代表幹事が招集するとするが、必要に応じて幹事が代行する。
２　総会の案内は、日時及び場所を１０日前までに通知し、会議の目的たる事項及びその内容を開催日までに通知しなければならない。
３　前項の規定は、幹事会について準用する。ただし、議事が緊急を要する場合において、あらかじめ幹事会において定めた方法により招集するときは、この限りではない。
（議長）
第２１条　総会及び幹事会の議長は、代表幹事がこれに当たるとするが、必要に応じて幹事が代行する。
（議決）
第２２条　総会の議事は、本規約が定める場合を除き、出席構成員の過半数の同意でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
２　総会及び幹事会においては、第２０条第２項又は第３項の規定により、あらかじめ通知された事項についてのみ議決することができる。ただし、議事が緊急を要するものであった場合はこの限りではない。
３　議決すべき事項につき、特別な利害関係を要する構成員は、当該事項について表決権を行使することはできない。
（書面表決等）
第２３条　総会や幹事会に出席できない構成員は、あらかじめ通知された事項について、書面又は電子メールにてその表決権

を行使できる。
２　第１項の規定により表決権を行使する構成員は、第２２条第１項の規定の適用について出席したものとみなす。
（議事録）
第２４条　総会及び幹事会の議事については、次の各号に記載した議事録を作成しなければならない。
（１）日時及び場所。
（２）構成員の現在の数。
（３）出席した構成員の数および幹事会にあっては、幹事および監査の氏名。
（４）議決事項。
（５）議事経過の概要
２　議事録は、幹事の中から選任されたものが作成し、幹事から会員に電子メールにて回覧する。

第５章　会　計

（資産の構成）
第２５条　本会の資産は、次に揚げるものをもって構成する。
（１）基本財産
（２）行事または事業に伴う収入
（３）寄附金品
（４）資産から生じる収入
（５）その他
（基本財産）
第２６条　本会の基本財産は、次の各号に掲げるものからなる。
（１）化学工学中国四国支部の支部活性費からの一定金額の寄附金。
（２）総会の議決により基本財産に繰り入れられた寄附金、収支差額その他の収入。
（会費）
第２７条　年会費は徴収せず、行事または事業毎に発生する費用を会員から徴収する。
（資産の管理）
第２８条　本会の資産の管理は、代表幹事が管理し、その管理方法は、幹事会の議決による。
（事業年度）
第２９条　本会の事業年度は、毎年４月１日に始まり、毎年３月末に終わる。
（事業計画及び収支予算）
第３０条　本会の行事または事業計画及び収支予算書は、代表幹事が作成し、毎事業年度開始前に総会の議決を得られなければならない。だだし、やむを得ない事情により当該事業年度開始前に総会を開催できない場合にあっては、当該事業年度の第１回目の総会にて議決を得るものとする。
２　前項ただし書きの場合にあっては、総会の議決を得るまでの間、前事業年度の予算執行の例による。
（事業報告及び収支決算）
第３１条　本会の行事または事業報告書､収支決算書および財産目録は､代表幹事が毎事業年度終了後遅滞なくこれを作成し、監事の監査を経た上、社団法人化学工学会中国四国支部支部長に報告を行うとともに、総会の議決を得なければならない。
２　社団法人化学工学会中国四国支部支部長から行事または事業報告及び収支決算の提出依頼があった場合には、その都度遅滞なく提出する。
（収支差額の処分）
第３２条　本会の収支決算により差額が生じたときは、総会の決議を得て、その一部若しくは全部を積み立て、又、翌事業年度に繰り越すものとする。

第６章　事　務　局

（事務局）
第３３条　本会に、事務を処理する事務局を設ける。
２　代表幹事は支部の目的を達成するために、必要があるときは事務担当アルバイトを雇い入れることができる。
３　事務局及びアルバイトに関する規定は、幹事会及び社団法人化学工学会中国四国支部役員会にて別に定める。

第７章　規約の変更ならびに解散

（規約の変更）
第３４条　規約の変更は、総会において過半数の議決を得、かつ、社団法人化学工学会中国四国支部役員会の承認をえなければならない。
（解散）
第３５条　本会は、総会において全会一致の議決を得、かつ、社団法人化学工学会中国四国支部役員会の承認をえなければ解散できない。

（残余財産の処分）
第３６条　本会が解散の際に有する残余財産は、社団法人化学工学会中国四国支部にすべて寄附するものとする。

第８章　補　則

（備え付け書類および帳簿）
第３７条 本会は、事務局にて、次の各号に掲げる書類を備えなければならない。
（１）規約
（２）役員を含む会員名簿
（３）事業報告書
（４）収支計算書
（５）財産目録
（６）事業計画書
（７）収支予算書
２　前項に揚げる書類は、社団法人化学工学会中国四国支部役員の閲覧に供するものとする。

附則
１　本規約は、総会にて承認が得られた日から施行する。

総会資料2

平成 19 年 8 月 8 日

（文責　山本徹也）

第１回 中四国若手 CE コロキウム 若手の会　総会議事録（案）

日時：平成 19 年 7 月 31 日（火）13：00～13：40

場所：三菱化学水島事業所本棟　〒712－8054 岡山県倉敷市潮通 3－10

出席者：木原，小野，外輪，荻，山本，林田，その他６６名

【主な議事】

・　中四国支部若手 CE の会発足の経緯と行事計画の説明が木原からなされた。

・　幹事，学生幹事，会計，監査に下記が承認された。各担当者の紹介及び挨拶がなされた。

　代表幹事：木原(広島大学)、幹事：小野(岡山大学)，外輪(徳島大学)、学生幹事：荻(広島大学)

　会計：春木(広島大学)，山本(広島大学)、監査：林田(三菱レイヨン)

・　中四国支部若手 CE の規約の説明が木原代表幹事からなされ、承認された。ただし細則は幹事内で調整することとした。

・　第１回中四国若手 CE 合宿の案内

　平成 19 年 9 月 28 日～9 月 29 日

　工場見学＆講演会：三菱レイヨン大竹事業所、合宿所：極楽寺温泉 アルカディア・ビレッジ

・　第２回中四国若手 CE コロキウム（未定）の案内

　平成 19 年 11 月 22 日(山口大学)

・　次回までの検討課題

　次期学生幹事の推薦、企業側の幹事の推薦（いずれ)、規約細則の調整

　学生および研究室の旅費等の経費負担軽減の方策（広告費など）

　来年度以降の計画（下記は大枠の案)

　2008.5　第３回中四国若手 CE コロキウム（徳島）

　2008.8　第２回中四国若手 CE 合宿

　2009.9　化学工学会秋季大会(広島大学)

以上

「第１回中四国若手 CE コロキウム」(2007/07/31 岡山）アンケート集計結果　総会資料3

多数の回答ありがとうございます。アンケート結果（総回答数４１件）を集計し、主要な意見を下記のように纏めました。総論として、コロキウムの講演件数が多すぎたため時間に余裕がなく、十分な（本音）議論ができるまでに至らなかったこと、交流がもっと深まる工夫や企画の充実の他、幹事の自己紹介をもっとすべきである指摘などが目に付きました。工場見学は全般的に好評であったようです。ご指摘事項等について、次回以降の運営からできるところから改善していきたいと思います。意見をそのまま記載した補足資料が別紙にありますのでそちらもご覧ください。

a. 日時　【問題無し　３４/４１　問題あり　7/４１】
- （学生から）試験に重なるのでもう少し遅い方が良い（８月中ー下旬）
- （学生から）学会（８月、９月）の直前は避けてほしい
- （学生から）化学メーカーの採用試験が始まる直前
- （企業から）月末は会議が多いので避けてほしい
- （企業から）都合の良い時期としては，５ー８月の月末以外
- （企業から）場所によっては当日入りが難しくなるので，開始時間を考慮してほしい.

b. 工場見学　【有益　３９／４０　どちらでもない１／４０　不参加１】
- 企業からの参加者にとっても他社のプラントを見る機会は無いので有益
- バス見学，イヤホン説明はとても見学しやすかった
- 事前に見学場所の説明を紙で配布してほしいという希望あり
- （学生から）建物や配管だけではなく実際に人が働いているところやより内部を見たい
- （学生から）加熱炉など単独の機器だけではなく，一つの製品ができるところを順番に見学したい
- （学生から）ラボで研究されたものがどのようにスケールアップされているのか興味がある
- （学生から）工場見学により刺激を受け、就職を含めた自分の将来について考えるようになるよい機会

【希望工場】半導体工場，ビール工場、製紙会社、製薬系工場

c. コロキウム　【有益　３８／４１　どちらでもない　３／４１】
- 有益であったという意見が大半であったが内容に関し、開発的な話以外に改善に関する話がもっと有ると良い
- 発表件数が多くて時間的に余裕がない
- もう少し会場が小さければ質問しやすくなる

d. 交流会　【有益　３４／３７　どちらでもない　３／３７　不参加４】
- 交流・情報交換の場として有益であるという意見が多く，もっと時間が長くても良い
- 名札が有って良かったという指摘
- 知らないもの同士でグループを組むんだ方がより交流が深まるという意見

e. 運営　【特に問題無し　３９／４１　問題あり２／４１】
- 全体を通して時間に余裕が無い，プログラムが多すぎる
- 今後は実施時期を決めて定例的に実施した方が良い
- 特定の人に負担がかかりすぎているので，作業を分担する体制を早期に作るべき

f. その他
- 日帰りが辛くなるので工場見学，講演会の時間を少し減らして欲しい
- 企業人は業務としての参加（発表や工場見学準備等）は難しいがリクルートと明記されると参加しやすい
- 現場で要旨を渡されたが、できれば事前に手に入れたいという要望あり
- 企業側の参加者が大学に比べて少ないという指摘
- 大学でどのような知識・技術を身につけてほしいかを教えて貰えればありがたい

e. 本若手の会で希望する企画等、提案
- 講演テーマを決めてディスカッションをする
- 若手の会主催の講習会：化工屋対象の機械についての講習会、計測技術講習会、卒業論文や paper の書き方の指導、計測技術講習会、ＶＢＡ講習会など、基礎化学工学講習会でやらない企画
- 会報誌の出版や会員持ち回りで最近思ったことなどを記載したかわら版のメール配信
- 大学の研究室（研究内容）紹介
- 大学で学ぶ基礎が，企業に入ってからどのように活用されているのか，具体的に聞けるような企画
- 短期のインターンシップ
- 研究室間の交換訪問(違う研究室での研究生活を 3〜7 日かけて体験する)

以上

総会資料4

「第１回中四国若手ＣＥ合宿要旨集」 掲載広告の募集要項について

１．「要旨文集」の内容：2007 年 9 月 28 日（金），29 日（土），三菱レイヨン（株）大竹事業所および広島県廿日市市「アルカディアビレッジ」にて開催（発表件数 約 40 件，合計 約 25 ページ），Ａ４判発行部数約 50 部）．

２．広告掲載場所：「講演論文集」の最後部に一括掲載．

３．広告掲載料：

論文集１ページ	30,000 円	（白黒）
論文集１／２ページ	15,000 円	（白黒）

１社何口でも申込み頂けます．

４．広告原稿の態様：

（１）版面サイズ：論文集Ａ４判１ページ（H270㎜×W185㎜ 枠囲み）
論文集Ａ４判１／２ページ（H132㎜×W185㎜ 枠囲み）

（２）版下，ポジフィルム，イラストレーターなどの電子ファイル（ＣＤ－Ｒ等）にてご提出ください．（基本的に墨一色の枠囲み）．
版下作製については，木原までお問い合わせ下さい．版下作製は御社負担とします．

（３）原稿は，作業終了後全て返却致します．

（４）広告掲載位置は，原則として受付順と致します．

５．申込み期限：

（１） 広告申し込み期限： 9 月 20 日（木）

（２） 広告原稿提出期限： 9 月 23 日（日）

６．送金について： 要旨集印刷後，中四国若手ＣＥ会事務局より請求書を送付いたします．（請求時期について不都合がございましたらご相談ください．）

７．問い合わせ先・連絡先：

〒739-8527 東広島市鏡山 1-4-1
広島大学大学院工学研究科物質化学システム専攻 木原伸一
電話：082-424-7721，Fax：082-424-7713，E-mail：snkihara@hiroshima-u.ac.jp

総会資料５

「中四国若手ＣＥ支援金」への寄附について

１．主旨

中四国若手ＣＥの運営への補助

２．寄附金

一口　10,000 円　　注）　何口でもかまいません.

３．振込先

銀行：広島銀行　西条南支店口座番号
口座番号：３１０３６２１（普通）
名前：ワカテノカイカガクコウガクチュウゴクシコクシブ
ダイヒョウシャ　キハラ

注）　規約により会計担当にて管理および監査担当にて確認致します.

４．期日

２００８年３月３１日まで随意
注）　年度ごとに寄附を募る予定としております.

５．問い合わせ先・連絡先：

〒739-8527 東広島市鏡山 1-4-1
広島大学大学院工学研究科物質化学システム専攻　木原伸一
電話: 082-424-7721, Fax: 082-424-7713, E-mail: snkihara@hiroshima-u.ac.jp

---

（社）化学工学会中国四国支部若手の会
「第１回中四国若手ＣＥ会合宿」要旨集への広告および寄附金への申込書

貴　社　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

申込年月日：平成　　年　　月　　日

☐ 内にレ点でお示し下さい.

１．「要旨集」への広告掲載

☐ 諾
　　１）☐ １ページ,　　☐ １／２ページ
☐ 否

２．寄附

☐ 諾　　口数　　口
☐ 否

３．「諾」の場合

・担当者ご氏名：
・担当者ご連絡先：
　１）住所：〒＿＿＿＿＿＿＿＿
　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　２）部署：
　３）ＴＥＬ：
　４）ＦＡＸ：
　５）E-mail：
・送金予定：　　月　　日頃

４．通信欄

化学工学会中四国支部若手の会　特別講演会、ポスター発表、若手講演会プログラム

1. 特別講演会

【日時】　2007年9月28日（金）　13:30　～　15:55
【場所】　三菱レイヨン（株）大竹事業所　レイヨンホール

講演時間 45 分：　発表時間 30 分、質疑応答 14 分、交代1分を目安にします。
発表にはプロジェクターを使用します。

【プログラム】

13:00 受付開始 （要旨集とお茶配布）

13:20 化学工学会中国四国支部支部長　挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【司会】広島大学　木原伸一

13:30～14:15 特別講演Ｓ１ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【座長】徳島大学　外輪健一郎
「デバイス上生体高分子の最表面構造実測への挑戦」
島根大学 生物資源科学部　青柳里果

14:15～15:00 特別講演Ｓ２ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【座長】岡山大学　小野努
「プラスチックの押出技術に活きる化学工学」
（株）日本製鋼所 研究開発本部 機械研究所　福島　武

15:00～15:45 特別講演Ｓ３ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【座長】広島大学　木原伸一
「各種焼却灰の再資源化とその利用法」
広島大学 大学院工学研究科 物質化学システム専攻　福井国博

15:45～15:55 総合討論 ・・・【司会】広島大学　木原伸一

（備考） 本若手の会では、招待講演以外の講演者の御略歴紹介を省かせて頂いております。ご了承ください。

２．　ポスター発表

【日時】　2007年9月28日(金)　20:00 ～ 22:00
【場所】　アルカディア･ビレッジ　研修室
【オブリゲーション時間】　奇数番号 20:00 ～ 21:00/ 偶数番号 21:00 ～ 22:00
【ポスター貼り付け時間】　19:45～20:00
【ポスター撤収時間】　9月29日(土)　8:30 まで

----------(ポスター作成注意事項)----------

① **ポスターサイズ**　右図の通り、幅は 900mm までとし、縦の長さは自由です。標準サイズでは、A4 サイズ用紙 12 枚としますが、Ａ０サイズ用紙縦も可です。
　会場の壁にポスター番号を貼っておきますので、その場所に、両面テープ（会場に設置）にて貼り付けてください。

② **ポスター発表賞**　ポスター発表審査を行い、上位３名を「**優秀ポスター発表賞**」として、社団法人化学工学会中国四国支部支部長名にて9月29日の第2回総会にて表彰致します。

【ポスター審査内容】
(1) ポスター：内容の分かり易さ、工夫の有無、アピール性
(2) 発表方法：ストーリー性、説明の明確さ、発表態度・口調
(3)質疑応答：質疑応答の的確さ、応答態度・口調
の３項目で、要旨集は今回採点対象としません。

【審査員】　企業および大学教員の方のみとします。審査用紙は会場にて当日配布し､当日中に設置したボックスにて回収します。

【審査員によるアドバイス】　ポスター発表の審査以外に、ポスター発表に対するアドバイスを記載する欄がありますので、審査員の方はそちらも合わせて記載下さい。尚、アドバイス欄のみ、今後の発表に役立てて頂くために発表者に、翌日の総会にて渡します。

③ **その他**　ポスター会場では、中央のテーブルに飲み物を用意していますので、ご自由にお飲み下さい。ポスター発表者も遠慮なく喉を潤してください。

【ポスター発表リスト】

P01 超高圧印加プロセスによる高分子集合体形成と形態制御

○(学)六雄伸吾(岡大院環)・(未)木村剛(東医歯大生材)・(正)小野努(岡大院環)・
(正)岸田晶夫(東医歯大生材)

P02 温度周期操作を利用した一酸化炭素の酸化反応

○(学)石花健太(徳島大工)・(学)黒田勝也(徳島大院先端教育部)・(正)外輪健一郎(徳島大院 STS 研)・
(正)杉山茂(徳島大院 STS 研)・(正)中川敬三(徳島大院 STS 研)

P03 界面活性剤対イオンの W/O マイクロエマルションのサイズと相分離に対する効果

○(学)高階志保(岡山大院自)・(正)吉田幹生(岡山大院自)・(正)後藤邦彰(岡山大院自)・
(正)押谷潤(岡山大院自)

P04 感温性多孔質ゲルによる内分泌攪乱物質の吸着分離特性の検討

○(学)平良真人(広大院工)・(正)後藤健彦(広大院工)・(正)迫原修治(広大院工)

P05 環境低負荷型分散重合における分散安定剤分子量の影響

○(学)中島拓朗(岡大院環)・(正)小野努(岡大院環)

P06 マイクロリアクタによるアジン合成の高効率化

○(学)遠地恵伍(徳島大工)・(学)畑野修一(徳島大院先端教育部)・(正)外輪健一郎(徳島大院 STS 研)
(正)杉山茂(徳島大院 STS 研)・(正)中川敬三(徳島大院 STS 研)

P07 パルスエアジェットの付着粒子除去効果に対する実験的考察

○(学)岡崎峰也(岡山大院自)・(正)吉田幹生(岡山大院自)・(正)後藤邦彰(岡山大院自)・
(正)押谷潤(岡山大院自)

P08 感温性ポリマーの親・疎水転移を利用した浄水汚泥の脱水

○(未)矢木誠一(広大工)・(学)日名子亮介(広大工)・(正)迫原修治(広大工)

P09 ポリアミノ酸マクロモノマーを用いた分散共重合の粒子形成挙動

○(学)冨田恵介(岡大院環)・(正)小野努(岡大院環)

P10 塩添加噴霧熱分解法による GaN ナノ粒子の合成と特性評価

○(学)荻崇(広大工) (未)改發　豊(広大工)・(未)Ferry Iskandar(広大工)・(正)奥山喜久夫(広大工)

P11 気液界面を反応場に用いた棒状 Aragonite 合成とその形状制御

○(未)河野遼(岡山大院自)・(正)吉田幹生(岡山大院自)・(正)後藤邦彰(岡山大院自)・
(正)押谷潤(岡山大院自)

P12 アモルファスシリカ膜における水素および水透過のＭＤシミュレーション

○(学)福島健平(広大工)・(正)吉岡朋久(広大工)・(正)都留稔了(広大工)

P13 高分子分散安定剤の構造制御による単分散生分解性高分子ミクロスフェアの創製

○(学)村中誠(岡大院環)・(正)小野努(岡大院環)

P14 噴霧熱分解法によるポーラス粒子の合成と特性評価

○(未)改發豊(広大工)・(学)荻崇(広大工)・(未)Ferry Iskandar(広大工)・(正)奥山喜久夫(広大工)

P15 沈降天秤法における分散媒変化が粒子分散性に及ぼす影響の検討

○(未)森本誠(岡山大院自)・(正)吉田幹生(岡山大院自)・(正)押谷潤(岡山大院自)・
(正)後藤邦彰(岡山大院自)

P16　SC-CO_2を用いたPGSS法によるポリマーの微粒子化

○(学)藤田淳志（広大院工)・(学)弓削輝泰（広大院工)・(正)木原伸一（広大院工)・
(正)春木将司（広大院工)・(正)滝嶌繁樹（広大院工)

P17　生分解性高分子を用いた水性二相系へのアフィニティー機能の重畳化

○(未)安川政宏(岡大院環)・(正)小野努(岡大院環)

P18　マイクロインデンテーション法によるPCハードコーティング材の表面強度評価

○(未)林秀憲(広大工)・(正)礒本良則(広大工)

P19　高温環境下での粒子付着特性評価

○(未)谷村英樹(岡山大院自)・(正)篠原秀徳(岡山大院自)・(正)吉田幹生(岡山大院自)・
(正)押谷潤(岡山大院自)・(正)後藤邦彰(岡山大院自)

P20　有機ハイドライド脱水素反応における触媒膜型反応器の開発

○(学)矢田和也(広大工)・(正)吉岡朋久(広大工)・(正)都留稔了(広大工)

P21　W/Oマイクロエマルションの塩添加によるサイズと相境界への影響

○(未)矢野ひさよ(岡山大院自)・(正)吉田幹生(岡山大院自)・(正)後藤邦彰(岡山大院自)・
(正)押谷潤(岡山大院自)

P22　メタノール/ジメチルカーボネート系におけるセラミック多孔膜の浸透気化特性

○(学)佐々木明史(広大工)・(正)吉岡朋久(広大工)・(正)都留稔了(広大工)

P23　コアセルベーション法による電気泳動型マイクロカプセル表示素子の調製

○(未)廣田健(岡大院環)・(正)神尾英治(岡大院環)・(正)小野努(岡大院環)

P24　懸濁重合法によるナノ顔料－ポリマーコンポジット粒子の合成

○(未)羽倉暢宏(広大工)・(未)Hendri Widiyandari(広大工)・(未)Ferry Iskandar(広大工)・
(正)奥山喜久夫(広大工)

P25　制御ラジカル重合用水溶性 TEMPO 誘導体の合成およびその物性評価

○(未)大浦浩平(岡大院環)・(正)久保田潤(岡大院環)・(正)小野努(岡大院環)

P26　超臨界CO_2＋界面活性剤＋水系における相挙動の研究

○(学)松浦一彦（広大工)・(学)丹藤順志(広大工)・(正)春木将司(広大工)・(正)木原伸一(広大工)・
(正)滝嶌繁樹(広大工)

３．若手講演会

【日時】　2007年9月29日（土）08:45 ～ 14:00
【場所】　アルカディア・ビレッジ　研修室

- 講演時間 15 分：発表時間 7 分、質疑応答 7 分、交代1分を目安にします。
- 発表にはプロジェクターを使用します。
- パソコンは Windows XP、Mac OS10.4 がご利用いただけます。朝食後の休憩時間等を利用して PC にファイルを転送しておいてください。ただし、movie ファイルがある方は、各自パソコンを持参頂いた方が無難です。

【プログラム】

I. 08:45～10:00・・・

11:30～11:45　　休憩
11:45～12:45　　昼食 （食堂）

III. 12:45～13:45・・【座長】小野努・平野貴之

12:45～13:00　**L11　当社のご紹介および　入社してからの体験談**

○(正)林田昌大(三菱レイヨン(株))

13:00～13:15　**L12　微粒子の分かれ目**

○(正)山本徹也(広大工)・(正)吉田英人(広大工)

13:15～13:30　**L13　化学工学の必要性**

○(正)近藤敬介(㈱トクヤマ)

13:30～13:45　**L14　化学工学を学ぶ意義の再考と超臨界二酸化炭素を利用した有機材料プロセッシング**

○(正)木原伸一(広大院工)

13:45～14:00　　休憩